

地域の方々と豊かな暮らしを創造する

パールだより

6月号

社会福祉法人パール

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町3-27
電話 03-5458-4811

<https://www.shibuya-pearl.or.jp>

発行日 令和6年6月1日

発行人 新谷弘子 制作編集 入江祐介

パールが大切にしている基本三理念 — 人間の尊厳 — 個人の尊重 — 共に生きる社会づくり



第32回

恵比寿ふれあい広場



～みんなの絆～

2024.5.19 (日)



恵比寿・代官山地区の5月のビッグ・イベント「第32回 恵比寿ふれあい広場」が開催。我が社会福祉法人パールも、「バザー」と「クレープ販売」、2つのブースに参加させていただきました。

今年のサブタイトルは「みんなの絆」！「石川県能登半島大地震」という痛ましい震災からスタートした今年は、ヒトが生きていく上で、改めて人と人のつながり・絆の大切を感じ、考えさせられた上半期となりました。

当日は少し雨の心配もありましたが、程よい気温となり、大勢のお客様が足を運ばれ、沢山の出会いと交流を図る機会となりました。前々日の準備から、前日のテント張り、本番当日及び終了後の片づけまで、パール・チームのパワーは大いに地域に貢献できていれば幸いです。

これからもこの地域において、皆様の困りごとにお役に立てる法人・高齢者施設作りに寄与していきたいと思っております。よろしくお願い致します。



特別養護老人ホーム パール代官山



5月のイベント



特別養護老人ホーム・パール代官山
生活相談員 稲田 剛



5/19(日)恵比寿ふれあい広場

あいにくの曇り空、少し蒸し暑い日でしたが、パールで出店したクレープを食べながら和太鼓やバンド演奏などのステージ鑑賞を楽しみました！

最後にお楽しみ抽選会がありましたが、結果は……………残念！当選者なし(笑)

5/25(土)デコプリン教室

オハヨー乳業主催、デコプリン教室をパール一階交流ロビーで行いました。

まずは、ボランティアで協力下さった大学生と一緒にプリンをデコレーションします。センスを問われる作業でしたが、皆が思い思いにデザインしました。

そのデザインを元にいざデコレーション！デザインとちょっと違うのはご愛敬。食べ終わるのはあっという間でした(笑)



5/28(火)マフ贈呈式



「マフ」とは、イギリスの認知症高齢者ケアに使用されるカラフルな編み物です。毛糸の筒状の編み物に毛糸のポンポンや飾りがついており、それを触ることで認知症の方が落ち着くという効果があります。

豊沢新橋地域包括支援センターで活動中のあむあむの会が作成して下さったマフの贈呈式がありました。

贈呈後に早速手に取ってみましたが…あれ？ちょっと使い方が違うかな？という方も(笑)でも、使い方は自由です！

あむあむの会の皆様、素敵なプレゼントをありがとうございました！



デイサービスセンター パール鉢山

日大OBフォー・ユー・アンサンブル マンドリン演奏会

2024.5.18 (土)



昨年11月に引き続き、「日大OBフォー・ユー・アンサンブル」の12名の皆様による「マンドリン演奏会」を開催。

今回も美しく、迫力のある音色を聞かせて下さり、心豊かな時間を過ごすことができました。

普段、なかなか身近では聞くことができない楽器を、生で鑑賞できることは貴重な体験です。ご利用者の皆様にも、大いに喜んでいただく機会となりました。

次回は11月16日（土）を予定しております！



デイサービス× 栄養調理センター

2024.5.18(土)

天丼

厨房スタッフが皆さんの目の前で、天ぷらを揚げました。



2024.5.25(土)

もなか作り

皆さんと一緒に、「もなか」を作りました。

～6月も第3弾を企画しています。

お楽しみに！～

<追加利用も可能です。※人数に限りあり>



デイサービスセンター・パール鉢山

～当たり前の事を、当たり前に行える事業所であるために その24～



介護される側と 介護する側の気持ち

デイサービスセンター・パール鉢山
副主任 渡部 耕三

デイサービスセンター・パール鉢山では年2回、「虐待の芽チェックリスト」を職員全員で行っています。

「どんな行為が虐待に当たるのか」をきちんと理解していなければ、何回アンケートをやっても結果は同じです。虐待もなくなりません。

今回は、直接虐待につながるものではありませんが、新聞の投稿欄に掲載された記事の中から「介護される側と介護する側」の行き違いを紹介いたします。

『ヘルパーさんにあえて望むこと』（54歳・女性）

十年前、突然発病。慢性関節リウマチは急速に進行して、ホームヘルパーさんに家事援助・身体介護をしてもらう毎日です。ヘルパーさんがいなくなったら生きてこれなかったでしょう。ありがたい気持ちでいっぱいです。でも、介護者が良かれと思っていることでも、介護される者との間に行き違いが生じる場合があります。重々感謝しつつ、あえて、そうした例を私や他の要介護者五人の体験に基づいてまとめました。

◆張り切りすぎないで

ヘルパーはとっても元気。早く行ってあげようの気持ちで、勢いよく玄関を開けると「おはようございま～すっ」何でそんなに大きな声を出すんでしょう。『私が来たからにはもう大丈夫よ』の思いはわかります。でも、たいていの高齢者や病人は静かに暮らしているんです。突然の大声に、ドーッと疲れてしまいます。

晴れた日だと、ヘルパーはますます張り切って、「今日は車椅子で散歩しましょうね」とたたみかけます。わあ、じっとしてきたいのに外に出かけなきゃいけないの。外気に触れるのが体にいいって知ってるけど、介護される者には結構きつく、親切な提案も負担になってしまいます。その気になった時にお願いしたらまずいでしょうか。

◆いちいち報告しないで

「今日は掃除と洗濯と・・・」と用事をお願いすると、要介護者は安心してベッドに入ったり休んだりします。依頼するだけで疲れちゃう者も多いんです。そこへ洗濯機が止まったら「洗濯終わりましたから干してきます」。干し終わったら「終わりました」。買い物から帰ってきたら「全部買って来ました」。その都度言うのは困ります。

「ありがとう」「お帰りなさい」と返事しなければならず、横になってなんていられません。体がきついので用事をお願いしたのです。全部終わった時に声をかけて下さいませんか。

次のページ→

◆早とちりは困ります

入浴の際に「入浴剤を」と言ったら最後、毎回入れるのは困ります。色も香りもないお湯に入りたい日もあります。いつもしていることを今日もするとは限りません。

お風呂から上がって清潔な下着を身につけると心も体もリフレッシュします。今日は何色にしようかなと思っていると、ヘルパーが何も聞かずに着替えを用意するのは困ります。

「それじゃないです」と言うのは躊躇します。どの下着だってよいのですが、やはり自分の好きにしたい。洋服も同じ。どこに何があるかヘルパーが熟知しているのは大変結構で日ごろ感謝しているものの、ありがた迷惑になると困ります。

たまに、頑張って杖をついて歩いてみようかと思い「散歩したいんですけど。つえ…」と高齢者がお願いした時、最後まで聞かずに車椅子を広げて座るように手をさしのべられると、「車椅子じゃないんです」なんて、言えません。せっかくの希望は儂くつぶされてしまいました。不自由でも、自分の足で歩く方が嬉しいのを分かっていただけませんか。

◆何度でも聞いて

言語障害の要介護者に対して、ヘルパーが早合点してへんてこりんになることはよくあります。介護される者が汗だくになって口を動かして必死に言っているのに、何回も尋ねるのは悪いと思うのでしょうか。自分流に判断して動くのはかえって障害者に失礼だし侮辱です。そんな時は何度でも聞いて下さい。その方が嬉しいんです。

◆時間通りに

ヘルパーは元来が親切な方々。高齢者や病人の家に早く行ってあげようと五分から十分前には着くようにしています。ところが親切心が過ぎてとは言いにくいものです。三十分も前に来るのは困ります。要介護者や家族は他人が来るまでに、食事を済ませたり、見られてはまずいものを片付けたり、プライベートなことをいろいろとしておかなくてはなりません。

◆弱すぎても・・・

お風呂で、お年寄りの体や頭髪を洗うときに、強くこすったら痛がるだろうと思っているのか、そっとなでるように洗う人がいます。これでは洗ってもらった気がしないばかりか、かゆくなります。最初に「痛かったら言って下さい」と一声かけて普通に洗ってはどうでしょう。他人にしてもらっていると、「痛い」とは言えても「もっと強く」とは言いにくいものです。

その日の体調や気分など、感じ方は人それぞれだと思います。ヘルパーと話しがたくて待ち焦がれている方や、大きな声でヘルパーさんがやってきて挨拶してくれたら元気になる方もいることでしょう。

訪問だけでなくデイサービスでも、様々な利用者がいます。歩行時、手を貸そうとすると「ありがとう」と言って手を取って下さる方、「大丈夫、大丈夫」と言って一人で歩いて行ってしまう方、場合によっては手を跳ねのける方もいらっしゃいます。

他にも、ご利用者の意向とご家族様の意向がすれ違うこともあり、まさに十人十色です。ご利用者が本当はどう思っているのかは正直難しい部分もありますが、何とか気持ちに沿えるよう今後も努力していきたいと思えます。



創立25周年のご挨拶

社会福祉法人 パール 理事長
社会福祉活動教育研究所 会長
新谷 弘子

当法人が社会福祉法人の認可を受けて、25周年を迎えました。1999年に郷里の山口県萩市と共に、厚生労働大臣から東京都渋谷区鉢山町の地に、社会福祉法人の認可が下りました。東京は、東京都庁や渋谷区の指導を受けて、高齢者や障がいを持つ方々に対する対応について、研鑽を重ねて参りました。

山口県萩市は、私の郷里ですが、まだ地域の中で福祉に対しての理念が遅れており、萩市役所の福祉課や社会福祉協議会で今後を案じて居られました。私も萩市に多くの高齢家族が居りましたので案じておりました。気持ちよく協力して、毎月東京から萩市に出向き講座を担当、萩の自宅を在宅福祉の事務所に開放しました。萩市と相談しながら、「萩パール在宅介護サービスを企画しておりました」。訪問入浴事業は、萩市の委託を受けました。よって東京と萩市と同時に社会福祉の認可が下りたのです。

厚労省の当時の政策統括者：大島一博氏が言われました。2040年までに過去50年間の変化で日本の高齢者は300万人増。その内80歳以上が400万人増、80歳以下は少子高齢化で減少。福祉の課題は、「80歳以上の暮らしをどう対応するか」です。また現在の65歳の方が100歳まで生きる確率は、女性16%、男性4%と想定されていると言われました。つまり、高齢者問題は、女性問題とも言えると考えます。

我が国の近年の歴史を振り返ってみました。1979年～1995年まで、東京都知事を務められた鈴木俊一氏が1969年在宅福祉元年と言われて、在宅ホームヘルプの必要性を主張されました。

21世紀に向けて地域福祉計画を発表。その委員長を中村優一氏「東大卒・放送大学教授・日本社会事業大学名誉教授」が、勤められました。福祉施設だけでなく、地域福祉計画も立てるようにと各市区町村に指令を出したことは、当時東京都福祉局長を務めておられた、パールの元理事：石崎富江氏でした。

高齢者が増加しても介護者が不足し、施設入所が困難になりつつあるとも言われました。「予防・日常の食事指導・医療・介護・看護・生活指導」QOLを高めることが課題と言え、地域の役割と言えます。東京都は在宅介護に関する指導を進めてきました。

パールが渋谷で活動してきた事務所に「社会福祉活動教育研究所（以後・社活研）」を母校日本女子大社会福祉学科の教授：一番ヶ瀬瀬康子教授、吉沢英子教授、菅支那主任教授の指導で設立。先生方の指示で、私が所長に就任。先生方は、実行委員として参加・活動をされました。

高齢者・障がい者への対応方法についても、東京都と共に研鑽を重ねました。日本女子医大（当時看護短期大学）の看護学部のケア実習と東京都の協力を得て協定を結び、実習を受けました。更に教授の方々に具体的にテキストも書いていただきました。具体的な指導により、パールの職員はより実践的に成長し、効果が上がりました。2000年に始まる介護保険制度への対応も進めることができました。関係者皆さんに感謝で御座います。

努力をしている間に25年が経ちました。パールの事業は、社会福祉法人による介護事業に留まらず、高齢者のフレイル問題を地域の協力も得て、効果を上げております。幅広く活動を展開するようになり、令和6年3月15日には、東京都フレイル赤十字奉仕団の賞を頂きました。「支え合い」「助け合い」「声を掛け合う」を行って、住みよい地域にして参ります。



食事で虫歯予防！！



栄養・調理センター
栄養士 江守 由衣

虫歯は口の中にいる細菌が、食べかすや糖分をエサとして酸を作り出すことで進行していきます。普段から虫歯になりづらい食事を心がけることで虫歯を予防することが出来ます。今回は「食事を通した虫歯予防」について説明いたします。

【虫歯になりにくい食べ物】

- ①食物繊維を多く含む野菜
繊維の働きで歯の表面の汚れを落として歯を清潔に保つ
にんじん、ほうれん草、ごぼうなど
- ②カルシウムを多く含むもの
カルシウムは歯の原料となる、ビタミンDと併せて食べることで吸収率up
チーズ、小魚、大豆など
- ③よく噛んで食べるもの
しっかりと噛んで食べることにより、唾液の循環を促し汚れが流れる
ナッツ、するめいか、せんべい
- ④キシリトール
酸を生成しない甘味料 キシリトールガム



以上が虫歯になるリスクを低くする食べ物です。ですが、虫歯予防の中で何よりも大切なのは、歯磨きやフロスなどの丁寧なセルフケアです。これらを上手く組み合わせて健康な歯を保ちましょう！！

小松菜のかつおじゃこ和え

材料（2人分）

- | | |
|----------------|---------------|
| ・小松菜・・・1束 | ・酒・・・大さじ2 |
| ・しめじ・・・1/2房 | ・醤油・・・大さじ2/3 |
| ・ちりめんじゃこ・・・20g | ・みりん・・・大さじ1/2 |
| ・かつお節・・・適量 | ・ごま油・・・小さじ1 |



小松菜をサッと茹でて水にとり、粗熱が取れたら水気を絞り、一口大に切る。フライパンでしめじを軽く炒め、調味料を入れる。調味料が煮立ったら小松菜とじゃこを合わせて完成。

事例紹介

マルチタスクをスムーズに行う



訪問介護パールケア
ケアワーカー 岡田 節子

事例について特徴的な点：疾患、障害や認知・精神状態の様子、家族構成、生活、性格等マンション7Fにて独居。疾患を多く抱えている。身の回りのことが困難で家事全般に援助が必要。精神状態は良好。性格は厳格で頑固でせっかち。嚥下機能が低下してご本人も自覚しているが嚥下外来に通いながらも出来る限り常食を食べたいとの強い希望あり。

● 「事例に関する問題点・課題」

嚥下機能の低下に関わらず常食を希望している為、食事中は見守りが必要。朝食配膳後はご本人の様子を伺いつつ、希望されている他室やトイレなどの掃除や洗濯、食後の口腔ケア、整容の準備等で慌ただしい状況。せっかちな性格で呼びかけへの即時の対応を望むが、居住空間が広くダイニングスペースからの呼びかけが他室に届きにくい。時折、買い物代行や買い物同行、クリーニングのピックアップ等の依頼があり。限られたケア時間の中でいかにマルチタスクを行うかが課題。

● 「対応の経過・工夫した点」

仕事のプライオリティを決める。朝食配膳後のケアについて何を優先して行えばよいか、ご本人にプライオリティを毎回伺うことにした。

観察を徹底して行い、本人様のケア時間中の行動パターン、自分の仕事での同線、パターンなどをみつけそこから無駄のない動きや工夫を考えることにした。



呼びかけの際には、例え何かの途中であっても手をとめ呼びかけに応えることを優先するようにした。

● 「対応の経過・工夫した点」「対応の結果および考察」

ケア内容のプライオリティを伺う中で基本的にやる事が自ずと定まってきた。

それを効率的に進める工夫や方法も見つけることができ一つ一つの仕事に余裕を持って対応することができるようになった。見守りに関しては掃除機の使用をやめて、小さい扉をあけることで他室にいても音が聞こえるようになり、以前よりも早く対応できるようになった。ご本人からも“良く見て工夫してくれてますね、ありがとうございます”とお言葉を頂けるようになった。

● 「対応の経過・工夫した点・事例に対する感想や学んだこと」

観察・コミュニケーションはケアを組み立てていく上でとても大切なことだと感じた。マルチタスクをこなすには、数ある仕事の中からプライオリティを付けて無駄な動きを省く工夫をすることが必要であった。

今回のケースは理解力がありコミュニケーションがとれる方だったが、高齢者介護の仕事なので認知の度合いでコミュニケーションがとりづらい方や、ご自分の望みを伝えることが出来ない方もいらっしゃいます。そういった方々とどのようにコミュニケーションを深め満足していただけるケアを組み立て提供していけるかが課題だと思っています。

えびすふれあい広場

～ 普段は見えない裏方バージョン ～



特別養護老人ホーム・パール代官山
施設長 入江 祐介

今年も恵比寿地区連合町会の大きなイベントである、『えびすふれあい広場（日時：令和6年5月18日（日）、場所：鉢山中学校）』が開催。コロナ禍で暫く中止していたイベントですが、昨年続き、今年も社会福祉法人パールとして出店・参加をさせて頂きました。

当日の様子は、別ページにてご紹介しているところですが、本ページでは視点を変えて、当日までの準備作業など、当日のご来場いただいた方々には普段垣間見ることの出来ない裏側？の情報をご紹介します。

えびすふれあい広場は、毎回テーマを掲げており、今年度のテーマは『みんなの絆』です。コロナ禍で一時中断していた地域の絆。コロナも5類に移行され、昨年度から徐々に絆を取り戻していく過程と言ったところでしょうか？

当日は天候にも恵まれ、華々しいイベントが開催されまいが、当日の開催までには様々な地域の方々（団体）が協力し合い、綿密な準備段階を踏んで当日に臨んでいることはあまり表には出てこないところです。

「えびすふれあい広場」とは、①お年寄りから子供までがふれあう場を作る祭り、②みんなで作る祭り、③学校や町会や地域に迷惑をかける祭り。正に地域の方々が力を合わせ、手作りで作り上げていくイベントです。

事前の準備は、各団体が一同に参加する第1回・実行委員会の4月1日からスタート。4月27日の第2回・実行委員会での打ち合わせを経て、前々日・前日・当日・反省会へと繋がっていきます。

前々日に当たる5月17日（金）は、19時からステージ機材の搬出等、本イベントで一番大変な力仕事の作業。ここぞ、地域のために、我がパールの出番です！当日はボランティアながら有志を募り、多くの職員（20人程）を動員。昔は1時間以上かかっていた作業も年々時短。今年は最短記録？である、30分程度で作業が完了。地域の方々と一緒に汗水流す作業は、実に心地良い疲れ。地域貢献事業に共感・喜び・遣り甲斐を感じてくれる職員に感謝です。

前日である5月18日（土）は、①10時半からステージ作り、②13時半からテント設営・机と椅子の設置のお手伝い。みんなの力を合わせ、イベント会場の完成です。



いよいよ当日の5月19日（日）。職員は早出で7時からの出勤。前日の夜からハイエースに詰め込んだ荷物を搬入し、模擬店とバザーの準備に取り掛かります。ここでも裏話ですが、バザーの根付も大変な作業です。また、当日販売したクレープも厨房が前日の夜から下準備をして下さったおかげで、当日の運営作業が各段に効率化できました。アツと言う間に、楽しいひとは過ぎ、これまた皆の力を合わせ撤収作業。これまたアツと言う間に終了。朝早くから夕方まで立ち作業・力作業で疲れた職員を、施設に戻りビールで労い。同じ疲れでも、心地良い疲れと充実感、社会福祉法人の使命を実感できた1日となりました。

地域との絆は、当日のイベントの楽しみだけではなく、準備段階から苦楽を共にしてこそ、真の絆が構築されるものと信じています。また、こうした活動に共感を持ち、遣り甲斐を感じてくれる職員こそ我が法人の宝だと、あらためて感じる事が出来ました。

最後になりますが、新たな出会い、昔ながらの顔なじみとの再会など、『ふれあい広場』の名の通り、多くの方々とふれあう機会が持てたことに感謝申し上げます。5月31日（木）19時から、全体反省会がありますが、次年度に向けてアップグレードしていき、本イベントが益々発展していくことを願っております。



オハヨー式 みんなで作って楽しい デコプリン教室 in パール代官山 開催しました！ 2024.5.25 (土)

オハヨー乳業株式会社さんのご協力で、「デコプリン教室」を「パール子どもテーブル・スペシャル企画」として開催いたしました。

渋谷区内の12組のお父さん・お母さんと、4歳から小学3年生までの子どもたち、パール代官山のご利用者の方々、青山学院大学のボランティア学生さん等、約50名が集まりました。プリンにカステラ、果物、ホイップなどで、思い思いにデコレーションし、綺麗なスイーツができあがりしました。参加者全員が異口同音に「美味しかった」「楽しかった」と喜ばれ、幼児・小学生から大学生・高齢者と、素晴らしい「世代交流」の時間を過ごすことができました。最後に子ども達には、個人の写真入り「デコプリンこどもアンバサダー」の認定書が授与され、誇らしげな笑顔で終了しました。

パールでは、これからも子どもたちを中心に、「遊び」「学習支援」などの居場所を作り、地域のチカラで子ども達を見守り、育てていく活動を行ってまいります。ご参加お待ちしております！



フェットドラ ミュージック 2024 2024.5.25 (土)

～パールライフ音楽グループが参加いたしました～

5月25日(土)代官山の音楽の祭典「代官山フェットドラ・ミュージック」が6会場で開催されました。

パールではこれまで「若返りサークル」や「パールライフ」の音楽グループが計3回出演し、歌声を披露してまいりました。しかし新型コロナウイルス感染予防対策のため3年間のブランクが生じ、活動はストップ。本イベントも昨年からの復活し、パールライフ音楽グループも久々の出演となりました。

今回はご利用者・スタッフ混合の名のメンバーが参加。「花の街」「バラが咲いた」「野ばら(シューベルト)」「野ばら(ウェルナー)」「オー・シャンゼリエ」の5曲を朗々と歌い上げ、聴きごたえ200%！なコンサートとなりました。

参加する前はハラハラドキドキされていた皆さんですが、「楽しかった～!」「良い経験となった～!」と嬉しそうに感想を述べていらっしゃいました。その後は講師の新井宏水先生がピアノ・ソロ演奏を鑑賞しました。

皆さん「是非また出演した～い!」と仰っていただきました。何歳になっても、何でも前向きに取り組むことは良いことです。人生はチャレンジです!これからも、皆さんが、皆さんらしく活躍できる場作りを企画して参ります。皆さん、お疲れ様でした。また、楽しみましょう!



お菓子 & 衣類

販売会



開催します！



日程：7月23日（火）

時間：13:30～16:00位

場所：パール地域交流ロビー1F

ご家族、地域の皆様もお待ちしております♡



ふくまる

埼玉県越谷市神明町2-379-1F
 048-606-2898 Fax 048-611-9565
 HP : www.fukumaru2013.com
 e-mail : info@fukumaru2013.com

 2024年5月			5月業務実績報告		
4	土	みどりの日・端午の節句特別献立(厨房)	施設介護稼働率	特養	98.8%
5	日	こどもの日・特養おやつバイキング(厨房)		短期入所	102.9%
7	火	経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)	通所介護稼働率	一般クラス	73.7%
8	水	訪問看護連絡協議会(訪看)		認知クラス	68.2%
12	日	特養おやつバイキング(厨房)	訪問介護1日平均利用件数	本部	45件
14	火	経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・サ責会議(訪介)・カンファ(訪看)(用具) 温冷配膳車入替(厨房)		原宿	14件
16	木	監事監査(16:00~18:00)	訪問看護 1日平均利用件数		
18	土	デイ食事イベント<天井>(厨房)			14件
19	日	恵比寿ふれあい広場	居宅介護支援実績件数	本部	88件
21	火	第1回法人理事会13:00~15:00 経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)		恵比寿	97件
23	木	在宅カンファ(訪介)		原宿	103件
25	土	経口維持会議(特養) デイ食事イベント<手作り最中>(厨房)	福祉用具 貸与者数		159件
26	日	特養おやつバイキング(厨房)	配食サービス 1日平均利用食数		
28	火	経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)			100食
30	木	サービス担当者会議(特養)	キッチンパール 1日平均利用食数		18食



キッチンパール お弁当販売終了のお知らせ

平素より社会福祉法人パール及びキッチンパールをご利用いただきありがとうございます。

この度、ワンコイン弁当につきまして、誠に勝手ながら令和6年5月31日を持って販売を終了させていただくこととなりました。

これまでご愛顧いただいております皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。



長らくのご利用、誠にありがとうございました。